

あなたの力が地域の安心につながります

市民後見人養成講座 受講者募集

市民後見人は、町が主催する市民後見人養成講座を受講し、修了した方の中で、家庭裁判所から成年後見人等として選任された方のことです。

同じ地域に住む方が、同じ視点でサポートできるため、きめ細かな支援が可能な存在として期待が高まっています。

こんな方におすすめです

- 認知症のある高齢者や障がいを持つ方の支援に携わりたい方
- 制度について学び、将来に役立つ知識を身につけたい方
- 地域に貢献できる活動をしたい方

講座で学ぶ内容

成年後見制度、関係する法律、対象者との接し方、財産管理や身上保護等の後見業務、実際の後見活動の事例、医療保険・介護保険等の関連制度、家庭裁判所の役割など、市民後見人として活動するために必要な知識を学びます。



市民後見人へのサポート体制

市民後見人の業務は本人の状態により判断に迷う場面もありますが、白糠町権利擁護センター（町委託）が、随時相談支援を行っています。

また、月1回の市民後見人報告会では、後見人同士でざっくばらんに情報交換をしたり、支援の方法を考えたり、安心して活動ができるようにサポートを実施しています。



住み慣れた地域で自分らしく暮らすために

成年後見制度を知っていますか？

○相談・問合せ先 役場介護福祉課介護支援係 ☎2-2171（内線527）
白糠町権利擁護センター（白糠町社会福祉協議会内） ☎2-2042

認知症、知的障害、精神障害などの理由で一人で決めることが心配な方々は、財産管理などの法律行為を一人で行うのが難しい場合があります。

また、自分に不利益な契約であることがよくわからないままに契約を結んでしまい、悪質商法の被害に遭う恐れもあります。このような一人で決めることに不安のある方々を法的に保護し、支援するのが成年後見制度です。

□こんなときは制度の利用を考えましょう

- ・最近ものの忘れがひどくなってきたので、通帳やお金の管理が心配
- ・認知症で1人暮らしの親を悪質商法などから守りたい
- ・いろいろな契約や手続きの正しい判断ができていないか心配
- ・両親亡き後の障がいのあるわが子の将来が心配



□成年後見人等の仕事は大きく分けて2つあります

- 「財産管理」
本人のために適切な財産管理を行います。
(例) 預貯金、年金などの収入支出管理、不動産など重要な財産の管理や処分、相続手続など
- 「身上監護」
本人にとって良い環境であるように配慮します。
(例) 施設への入退所の手続きや費用の支払、病院での入院手続きの支援、介護サービスの契約など

□白糠町での活動

町が行う市民後見人養成講座の修了者のうち、10人が後見人活動をするための登録を行い、8人が実際に支援に取り組んでいます。

市民後見人は本人の困りごとの解決に向けて一緒に考え、できない部分の支援をしています。

制度の利用者からは「親身に相談にのってくれるので安心して生活できるようになった」「後見人さんが来てくれるようになって心強い」という声が多く聞かれます。

また、後見人として活動されている方からは、「最初は不安もあったが、ご本人の生活が整い、楽しみをもって過ごしている姿を見ると、とてもやりがいを感じる」という声が上がっています。

